84字でらくらく燐字入門

がかがある。

好国口兴然四的玩生二日本日面

アイル共和国文化省対外広報処日本語部署

草書 風字 (プアマーン) **楷書** 官字 (ユーマーン)

团然米和太阳

大名水里等一方元

全ての心は皇三の一部分じゃないか。どうして人の心と文化が同じでないなどというのか?文化二がなければ、人の心は貧しくなる。人の持つ心一は、文化のない場所では貧しくなる。

- 万物に宿る精神のことを示す概念である。ここでの「心(ヒヤー)」は土着信仰「皇論(タムツイ)」において、
- の心と対比してこのような表現をしている。 文化は「土地の心」を意味する【地心】という単語で呼ばれるため、人

 \equiv

 \equiv

対象である「皇(タム)」は心の集まりのことであり、皇論においての最大の信仰「皇(タム)」は心の集まりのことであり、皇論においての最大の信仰

はじめに

こんにちは、日本のみなさん!

この本の最初に書かれています変な文字は、ファイクレオネという星で人々が使っており、清字(リンマーン)の名前を貰っております。日本語では、日本机戦連盟などによって、燐帝字母(りんていじぼ)や燐字(りんじ)と言われております。

この文字はラネーメ王朝の

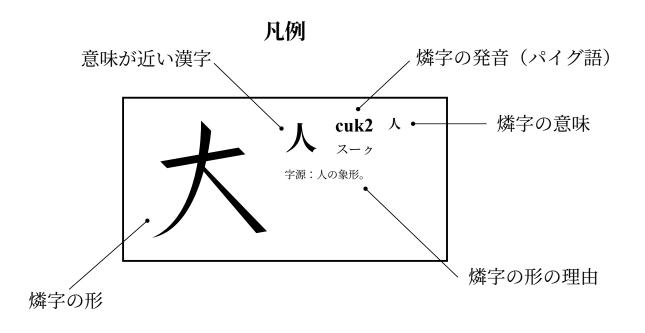
皇帝にございますアレス・リンが ご統一遊ばされたと伝えられており、日本 で人々が使っている漢字とよく似た特徴がございます。

このたび我々がこの本を書き、みなさんは重要燐字を努力なく学ぶことが可能です。この本には84文字があり、これはアイル共和国にいる全ての人が知るものです。この本の84文字を学べば、最初の文を遅く読み、理解することが可能です。さらに、机戦などの我々の文化や言語をさらに知るとき、燐字知識はきっと助力です。加えて、この本では燐字の形と発音と意味を書き、さらにその燐字の形の理由と意味が近い漢字を掲載しています。

我々の部署はみなさんがこの本を使って燐字を学び、文化を豊かに感じてく ださることを思っています。

> アイル共和国文化省対外広報処日本語部署 上等事務員 カジカ・ソタモナ

> > 12 /2 h



cuk2 人 スーゥ

字源:人の象形。



我 pai2 私

字源:【人】+【己】の会意。

mua2 あなた 汝

ムヮー

字源: 【人】+【己の反転字】の会 意。

kal これ、この 此

カー

字源:【己】+【ものの象形】の会

zel それ、その チェー

字源:会意。もとは【己の反転字】の みであったが、【物】と字形が衝突し たため【ものの象形】を付加して分化 させた。

彼 zap2 彼、彼女 チャープ [文]あれ

字源: 【己の反転字】+【己】の訛

※パイグ語では非生物に対する遠称は ze1を用い、zap2は人にのみ用いる。

hia1 心、思う、 ~したい、 ヒャー ~だろう

字源:【人】の心臓付近を強調した

字。の象形。

kait ^{良い}

カイト

字源:【上】+【心】の会意。

non1 悪い 悪

ノーン

字源:【下】+【心】の会意。

nan2 何 何

字源:【心】+【無】の会意。



mun1 無い、 いいえ、 ~ない

字源:小さい点で【無】を示す。

aim2 ある、いる、 はい、~して アイム いる

字源:【処】の強調字。

zep1 言う、言語 ディープ チェープ

字源:【口】からの気息を表す。

ie ~に、~で

イェ

字源:【在】の訛字。



ず nui2 ヌイー 学問

字源:【筆】+【入】の象形。



zau する、行う

チャゥ

字源:金槌を持った手の象形。



~0

字源:元は句読点か。



hue ところ、場所

ホェ

字源:横棒二本で【処】を示す。



yn2 ~か? ユン

字源:不詳。



とても、非常 kit 極

字源:【物】+【物】の会意。



だなあ(感動 詞)

字源:【声】+【心】の会意。



kua2 書く、筆、書 カワー 記官、クワ (姓)

字源:筆の象形。



sip1 玉

ズィープ

字源:【王】を囲んで国を表す。



力、能力、~ py ピュ できる

字源:分銅の象形。



字源:形声の仮借。燐帝は「必ず存在 する【黍】と【虫】を並べ、確実さを 表す」と解釈した(誤り)。



iam1 口、飲み食い する ヤーム

字源:口の象形。



mok1 行く、~しよ うとする 行 HOKI

字源: 【足】+【足】の会意。



sak2 来る

ザーゥ

字源:【行】の反転字。

sau2 上、前の、先 ザーゥ

字源:指事。基準としての横棒に対し ての上を示す。

ut2 下、次の、後

字源:指事。基準としての横棒に対し ての下を示す。

左 tyn1 左

字源:指事。基準となる縦棒に対して左であることを示す。

ky1 右

字源:指事。基準となる縦棒に対して 右であることを示す。

とき kak

カゥ

字源:【日】+【足】の会意。

手、持ってい る 手 hop1

字源:手の象形。

足 xi1

字源:足の象形。



金銭、ズー su1 (通貨単位) ズー

字源: 束ねた穴あき銭の象形。

hem

というわけで (接続詞)

字源:元は句読点か。



~て(接続 ua 詞)

字源:元は句読点か。

与える tui2

字源: 【ものの象形】+【手】の会

愛 guk2 受ける、もら グーク う、~される

字源: 【与】の反転字。

日、太陽 kia1

キャー

字源:太陽の象形。

xem1 月 シェーム

字源:月の象形。



星 pet2 星、年

字源:【天】+【軸】の会意。



kan1 火、燃える

カーン

字源:火の象形。

nua2 水、流れる

ヌァー

字源:水面の象形。

pua2 風 風

プヮー

字源:風の作るうずの象形。

mam1 母

マーム

字源:【上】+【女】の会意。

文 kuak1 ダ

字源:【上】+【男】の会意。

全ての be1 ブー

字源:【物】+【周りを囲む線】の会

~たち

字源:【人】+【人】の会意。

~と(接続 at 詞)、加える アト

字源:二つのものを繋いでいるさまを

示す。

paul 異なる、分別

字源:二つのものを繋いでいるさまを 分割しているさまを示す。

同じ、~も bap 同 バプ

字源: 【ものの象形】二つを一本の線 で貫いて同じであることを示す。

et2 エート

字源:指事。一本線で「いち」を示

__ ik2

-- イーク

字源:【一】+【一】の会意。

 \equiv om2

▲ オウム

字源: 【一】+【一】+【一】の会



字源:指事。四方向を示す。



un1 £

字源:指事。一本線で「ご」を示す。 古代の計算用具との関連がある。

上 net2 六 **ノ**ト

字源:【五】+【一】の会意。



nik2 ±

字源:【五】+【二】の会意。

nom2 八

ノウム

字源:【五】+【三】の会意。



nap1 九 L_{ナープ}

字源:【五】+【四】の会意。

nun1 + ヌーン

字源:【五】+【五】の訛字。



kit1 百

キート

字源:会意。もとは【大】が百の意味 をも表していたが、【物】を付加して 分化した。



hut2 始める

ホォト

字源:日の出の象形。始まりを意味す



~した、[文] 終わる、終え

字源: 【始】の反転字。

ian1

作る、出す、 生む、生じ る、[文]~で

字源:ある位置から ある 【足】を出した形の

象形。

消える、消 lit1 す、入れる、 リート

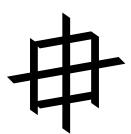
字源:【生】の反転字。



冠 ai2

かんむり、帽 子、アイル

字源:かんむりの象形。



皇 tam2 タム(信仰対 象)

字源:不詳。

tun2 神、精霊 トゥーン

字源:稲妻の象形。

mal 大きい

字源:基準としての二本の横棒に対し てその上を表すことで、大きい様を表

小さい ni1

字源:基準としての二本の横棒に対 してその下を表すことで、小さい様 を表す。

taun1 多い

タウーン

字源:【人】と【人】で人の多い様を 表す。

少ない hue1 ホエー 字源:短い線で少ない事を示す。

e pok 色 **ユ** ポク

字源:多くの刻みの象形。飾りから色 の意に転じた。

kok1 赤(い) コーゥ

字源:【色】+【火】の会意。

並 nuok2 青 (い)

育 ヌォーク

字源:【色】+【水】の会意。

liok1 白(い)

リョーク

字源:【色】+【光】の会意。

huok2 黒 (い)

フォーク

字源:【色】+【闇】の会意。

huep2 土地、地面

ホエープ

字源: 【神】と【処】の組み合わせ の訛字。【処】の兄弟。

LL zuo1 欠片、駒、 ツォーウ **55.4mm、**

字源: 【石】に点を付して石の欠片を 表したものが訛った。

中身が少ない hei2

字源:【少】と【銭】の組み合わせ。

故 xit2 理由

字源:【言】と【上】を組み合わせ、 発言の前にあるものを表す。

